

令和3年度（第1回）久留米市食料・農業・農村政策審議会 議事録

日 時：令和3年7月28日（水） 10時00分～11時30分

場 所：職員会館メルクス3階 大会議室

出席者：【会場】

福田委員、宮田委員、作田委員、野村委員、田中委員、永松委員、
市川委員、吉永委員、豊福委員、半田委員 (10名)

【オンライン】

岩屋委員、林委員、増崎委員、中村委員、稲吉委員、高良委員、
矢次委員 (7名)

以上、17名（欠席者：溝上委員、森永委員 2名）

事務局：【会場】

農政部 山口部長、古賀次長、春木流通担当次長、
農政課 井上課長、田川課長補佐、松延主査、松岡、吉竹

【第2会場（本庁舎15階）（オンライン）】

農業の魅力促進課 林田課長、古賀主幹、生産流通課 樋之口課長、
農村森林整備課 松尾課長、田代主幹、植田主幹、農業委員会 横溝局長
田主丸総合支所産業振興課 高尾課長
城島総合支所産業振興課 大坪課長

【総合支所（オンライン）】

北野総合支所産業振興課 鳥取課長、三潁総合支所産業振興課 田中課長

傍聴者：なし

次 第：開会

1. 部長あいさつ
2. 委員の紹介
3. 会長・副会長の選任
4. 報告事項
 - (1) 第3期 食料・農業・農村基本計画 令和2年度実績報告
 - (2) 第3期 食料・農業・農村基本計画 令和3年度実施計画
 - (3) 令和2年7月豪雨災害の被災者等に対する支援策
 - (4) 農業分野における新型コロナウイルス感染症対策
 - (5) 情報提供（委員及び事務局から）

1. 部長あいさつ

農政部長	挨拶
------	----

2. 委員の紹介

事務局	【配布資料 委員紹介】
-----	-------------

3. 会長・副会長の選任

事務局 (井上課長)	事務局案 ・会長 福田委員 ・副会長 吉永委員 全員一致で承認 会長、副会長挨拶
---------------	--

4. 報告事項

(1) 第3期 食料・農業・農村基本計画 令和2年度実績報告

事務局	【配布資料 第3期 食料・農業・農村基本計画 令和2年度実績報告の説明】
A 委員	<p>先日、県内の担い手農業者が集まる会議の中で、認定農業者と認定新規就農者をどう繋いでいくかという議論があった。</p> <p>将来の認定農業者の候補として、認定新規就農者を地域で支えて、将来の地域の担い手になってもらう必要がある。</p> <p>令和2年度の実績では、担い手や新規就農者への支援に取り組んでいるが、今後も引き続き、新規就農者の育成に取り組んでもらいたい。</p>
B 委員	<p>新規就農者は、農業経営の経験が少ないにも関わらず、先輩農業者等に相談することが少なく、経営のノウハウをあまり知らないと思うことから、農業経営の実践向けの講習会等を定期的実施する必要があると思う。</p> <p>久留米市の農業産出額は、全国で27位であるが、上位の市町村は、ブランド品目がある所が多い。久留米市は、多品目の農産物を生産していることが強みであるが、他市町村と同じようにブランド化するのではなく、農産物一つひとつが美味しいと知ってもらえるようなPRを進めて行く必要があると思う。</p> <p>学校給食も、地元食材の利用割合を増やすのではなく、利用量を多くしていく取り組みが必要と考えているため、今後行政とも協議をしたいと考えている。</p>
事務局	<p>新規就農者の中には、委員が言われるような方も見受けられる。</p> <p>J Aや久留米普及指導センター等と連携を図りながら、定期的に相談会を開催し、早期に営農が確立できるよう支援するとともに、就農後は、地域に根差した担い手として経営発展できるよう、実践</p>

	<p>研修事業等の取組により、地域農業者との関係構築についても支援していきたい。</p>
C 委員	<p>耕作放棄地が増えてきている状況に対し、改善策を考えているか。</p> <p>国は大規模農業の支援と併せて有機農業への支援も推進しているが、何か対策を考えているか。</p> <p>くるめ緑花センターでは、様々なイベントを開催しており、今年度は、久留米つつじまつりも開催するなど、緑花木やつつじの振興に取り組んでいるが、特につつじなどは、豪雨災害等による被害により、生産量が減っているだけでなく、生産農家も減少している状況であるため、何か対策を考えているか。</p>
事務局	<p>農業委員会では、農業委員・農地利用最適化推進委員と市による農地利用状況調査（農地パトロール）を行っており、その結果を基に、耕作放棄地の所有者や耕作者に意向調査を行っている。</p> <p>営農しやすい農地であれば、担い手や新規就農者に紹介して、農地の活用に結び付けているが、耕作放棄地や形状が悪い農地等は営農に結び付けることが難しい状況である。</p> <p>耕作放棄地の解消は、農業委員会や市、JA等の農業関係団体で構成した農地利用最適化協議会において、耕作放棄地の状況把握や意見交換を行い、耕作放棄地の活用について検討していきたい。</p>
事務局	<p>国も有機農業に積極的に取り組むよう推進しており、久留米市も環境負荷の低減等様々な観点から、有機農業への取組は必要であると認識しており、現在、有機農業に取り組んでいる農家に、課題等について話を聞いているところである。</p> <p>有機農業を進めるには、安定した取引ができるような環境があることと、生産技術の向上が課題であるため、有機農業の農家同士で情報交換を行いながら進める等、地道な取り組みが必要と考える。</p> <p>今後も農業者や農業関係団体等と意見を交わしながら、有機農業の取組について検討していきたい。</p>
事務局	<p>久留米市世界つつじセンターは、つつじに関する専門職がおり、施設には様々な種類のつつじを展示しているため、今後は、農業者と顔の見える関係を構築しながら、新たな品種の改良や挿し木等による生産振興の支援に取り組んでいきたい。</p>
D 委員	<p>自分の周辺では、有機栽培や無農薬栽培を取り組みたいという若い方がおり、4・5人の方に対し勉強会を行っている。</p> <p>市でも有機栽培等を検討している方に対し、勉強会等を実施して欲しい。</p>
事務局	<p>福田会長の挨拶でも、国の「みどりの食料システム戦略」に、長期的な視点を持って取り組む施策の一つに有機農業の振興があるた</p>

	め、状況等を踏まえながら検討していきたい。
--	-----------------------

(2) 第3期 食料・農業・農村基本計画 令和3年度実施計画

事務局	【配布資料 第3期 食料・農業・農村基本計画 令和3年度実施計画の説明】
D 委員	<p>くる農・泊まらん農（農業体験・農家民泊事業）を実施している農業者は、耳納北麓地域にしかないため、久留米全域で体験できるようにしてもらいたい。実施範囲拡大の際は、自分達も先輩農業者として協力したいと考えている。</p> <p>また、本事業を進める中で、今後は、農業者だけでなく、様々な団体等とも繋がりができるような取り組みも必要と考えている。</p>
事務局	<p>本事業は、新型コロナの影響を受け、感染予防のため、一時休止としているが、現在は、実施農業者の会合に参加して、様々な意見をいただいている。</p> <p>今後は、全域拡大の前に、現在実施している農業者がしっかり運営できるよう支援をしていきたい。</p>
C 委員	<p>多面的機能事業と農村総合整備事業は、相反する事業と思われるため、農村総合整備事業の基準について教えて欲しい。</p>
事務局	<p>農村総合整備事業は、県の事業で集落基盤整備を行っており、一定規模の農地がある所で、範囲を決めて、道路や水路の整備を行う。</p>
E 委員	<p>道の駅ではホームページやSNS、テレビ等で様々な情報を発信しており、特にテレビはお客様からコメントをもらうなど、その反響は大きい。市でも久留米産農産物の効果的な情報発信をしていると思うが、発信力のある道の駅を活用して取り組んでもらうとより効果的だと思う。</p> <p>また、道の駅イベント広場の大型屋根が11月に完成予定であるが、出荷者や出店者による販売だけでなく、イベント等、様々な活用ができると考えているため、農業関係団体の皆様には是非利用していただきたい。</p>
F 委員	<p>最近、自分の所に「新規就農をしたいため、研修させてもらいたい。」と東京や福岡等の都市圏からの問い合わせが増加している。</p> <p>都市圏からの研修希望の方は、就農する場所が決まっていないため、新規就農のPRや、研修先等の紹介ができれば、長期間久留米市に滞在され、新規就農に繋がるのではないかと考える。</p> <p>現在自分は、知り合いの農業者に直接相談して、受け入れてもらっているが、久留米市は、住み易く、新規就農できる環境があると思うため、研修施設や農業者のリストがあれば、もっと多くの人が久留米市で就農してもらえるのではないかと思うため、新規就農者の研修先を発信するような取り組みがあれば教えて欲しい。</p>

事務局	市にも様々な就農相談があり、研修先を探している相談者も多い。相談があった場合は、希望する研修等の内容を聞いたうえで、研修できる農業者等を探している。委員も現在研修希望者を受け入れておられるので、相談があれば、委員にも相談させてもらいたい。
事務局	知り合いの農家等を通じて研修希望者の受入先を探しているということだが、研修先が見つからないときは、市に相談をしていただき、相談者等と意見交換をしながら研修先とのマッチングができたらと考えている。

(3) 令和2年7月豪雨災害の被災者等に対する支援策

(4) 農業分野における新型コロナウイルス感染症対策

事務局	【配布資料 令和2年7月豪雨災害の被災者等に対する支援策の説明】 【配布資料 農業分野における新型コロナウイルス感染症対策の説明】
G委員	令和2年の豪雨災害で、よらん館（JA福岡大城農産物城島直売所）に出荷している農業者に被害があり、多くの野菜が出荷できなくなった。事業を継続していくためにはどのように収益を確保していくべきか皆様の意見を聞かせて欲しい。
事務局	販売の面での支援は農政部で行うことは難しいが、個別に状況を聞かせていただき、市として何かできることがあれば、協力させてもらいたい。

(5) 情報提供（委員及び事務局から）

事務局	「農家民泊、農業体験」の紹介 「久留米市地産地消推進店」の紹介 「労働力確保緊急対策事業」の紹介 「同和問題講演会、人権同和教育夏季講座」の紹介
E委員	「ひんやりスイーツ総選挙2021」の紹介